

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	和歌山県立海南高等学校大成校舎	坂本 勝則
学校所在地		
〒640-1131 和歌山県海草郡紀美野町動木1515 - tel 073(489)2069 fax 073(489)2433 e-mail hatanaka-m006@wakayama-c.ed.jp		
担当者名	役職名・担当教科	
畑中 美恵	教諭・福祉科	
<p>〔学校の概要〕 本校は、海草郡紀美野町東部、野上地区の中心地に位置する。平成22年4月より長き85年の大成高校の歴史に幕を閉じ、海南高等学校大成校舎となったが（1学年1クラス、生徒数93名と職員数14名）、大成高校の良き伝統は今も継承されている。</p> <p>生徒は地元紀美野町や海南出身者が9割を占め、その他は紀の川市や和歌山市内から通学している。 生徒一人ひとりを大切に、豊かな心を育てる教育活動に取り組み、普通科の中に、大学・専門学校や商業ビジネス系を目指す進学・コンピュータコース、高齢社会に対応できる人材を育てる福祉・看護コースを設置し、希望に合った進路の実現と将来の進路に向けた資格や技術の習得に取り組んでいる。</p> <p>また、地元の保育園、小・中学校との交流、貴志川の大清掃、生石山での自然保護活動などボランティア活動を積極的に行い、地域に貢献できる人材育成に取り組んでいる。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年2・3年生 32名	5名 内職員 3名	高野山参詣道、壇上伽藍、金剛峯寺
実践研究テーマ		
わが郷土の世界遺産から学ぶこと		
実践教科等名	単元名	
2.3年 特別活動 6時間	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について 講話学習	
2年「社会福祉基礎」 2時間	奉仕活動と福祉教育について	
3年「社会福祉演習」 2時間	仏教や儒教に基づく救済事業の歩みについて	
2.3年 LHR 2時間	振り返りとまとめ	
<p>〔キーワード〕 世界遺産学習、環境教育、歴史教育、修復保全活動、景観と町づくり</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <p>(1) 郷土の世界遺産を身近に感じ、地元和歌山人としての誇りと、次世代へ引き継ぐための表現力や意識を身につける。</p> <p>(2) 講話や体験学習を通して、世界遺産の保存の意義、地域や郷土への愛郷心、観光者を迎え入れる心を学ぶ。</p> <p>(3) 高野山の歴史、文化、自然を学び、わが郷土の素晴らしさやその保存に携わる人々の思いを感じ取る。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 10時間 （ 2年「社会福祉基礎」・3年「社会福祉演習」・特別活動・現地学習・まとめ ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>(1) 和歌山県世界遺産センター……土永氏による「世界遺産入門」 講話</p> <p>(2) 高野山現地学習……次世代育成事業 マスターさんによる現地学習の案内・説明その1 「女人堂～大門」</p> <p>(3) 高野山現地学習……次世代育成事業 マスターさんによる現地学習の案内・説明その2 「壇上伽藍～金剛峯寺」</p>		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	修復保全活動及び現地学習 その1 修復保全活動を通して遺産の大切さを体感する。 女人道道普請活動	班別行動 3班に分かれ、世界遺産センター職員の方、マスターさんから清掃等道普請活動の意義や指導を受ける。	観察評価
2	「世界の世界遺産と紀伊山地の霊場と参詣道」 講義受講	世界遺産センター土永氏より説明を受ける。	観察評価
3	世界遺産現地学習 その2 高野山を訪ね、歴史的文化遺産を学習すると共に実地学習を通して次世代へ継承する大切さを学ぶ。 壇上伽藍～金剛峯寺現地学習	班別行動 3班に分かれ、世界遺産センター職員の方、マスターさんから説明を受ける。	観察評価
4	振り返りとまとめ 現地学習及び修復保全活動の学習を通して整理し表現する。	グループ別に討議し、思い出に残った点、感動した点等自然・人々・文化・遺産について気付いたことを自由に表現する。	自己評価・相互評価
5	まとめ2	記述用紙を作成し、思い出に残った点、感動した点等自然・人々・文化・遺産について気付いたことを自由に記述する。	アンケート用紙 感想文 自己評価
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>成果</p> <p>1) 世界遺産の偉大さや荘厳で迫力のあるスケールを身近に感じ、深く興味を持つことができた。</p> <p>2) 季節や天候によってもさまざまな魅力を放つ高野山の自然と歴史的文化遺産は、そこに住む人や保存に携わる人々の暮らしを豊かにしていることを学んだ。</p> <p>3) 高野山を訪れる観光客や外国人、地元の方々に分け隔てなく礼儀・礼節をもって接する大切さを学んだ。</p> <p>4) わが郷土の世界遺産を保護していくことの大切さを学び、国内の他の世界遺産についても同様の視点で考えることができるようになった。</p> <p>5) 体験で得られた感動や学習内容を振り返り、まとめ上げる作業を通じて、思考力・表現力の向上につながった。</p>			

〔世界遺産学習の効果〕

生徒の感想より

「午前の講義では世界遺産に沢山の種類があり、どんな理由で登録されているのか知らなかったので真剣に聞くことが出来ました。」

「外国人や観光客が訪れた時、高野山はいいところだ、また来たいと思ってもらえるように一人ひとりが心がけるべきだ。」

「皆が一生懸命一つになって協力できたことはとても良かった。」

「もう少し和歌山のことを知り、和歌山の役に立てる人間になりたい。」

「マスターさんがとても詳しくわかりやすく説明をして下さり理解できたことは印象的です。」

参加生徒のほとんどが深い感銘を受け、直接五感を通して世界遺産を学ぶことで、仲間同士の助け合いや支え合い、人の役に立つという奉仕的精神、次世代に継承していくという誇りなど、一人ひとりに気づきをもたらした。

文化や自然が保存・保護されてきたのは、いつの時代も人々が物を大切にし、人を信じ、助け合い協力し合う気持ちや意識を持って次世代へ引き継いできたという先人の努力の賜物であることを学んだ。これを機に自分にも何かできることはないだろうかという生徒の意識変化につながり、社会に参加する端緒になることを期待したい。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

世界遺産を学ぶことで、登録に関わらず、われわれの地域にある文化財や史跡など身近な地域資源の良さを再発見し、地域を大切に思う心を育んでいくことが大切である。

また、私たち指導者は、地域資源を有効に活用しながら、こうした取組をさらに充実させるとともに、生徒だけでなく、地域や保護者等とも連携を図りながら取り組んでいくことが必要である。

様式 2

令和7年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

感想文より抜粋

高野山について、現地のマスターさんが詳しく説明してくれたのでとても理解できた。火事で燃えて崩壊したことを聞いたことや壇上伽藍を案内してくれたこと、3本松を持っておくと良いことがあることなどどれもこれも新鮮だった。地元にある世界遺産を見て、誇らしく思うのと同時にこれからは保護活動に取り組み、ずっと絶やさないで守っていくことの大切さを実感した。こんな貴重な体験をさせていただいたことを忘れないようにしたいです。

(3年 男

子)

高野山に行って思ったのは、自然がよくて、昔から保存されている金剛峯寺などを実際に見学できたのはとてもいい経験になりました。また、普段から山に登ったことはなかったけれど、マスターさんと話しながら女人道を歩くのが楽しかったです。少しでも和歌山を訪れる人たちに安全に観光することのお手伝いができると思うと、楽しかったです。色々な講義を教わって実際に午後から見学に行くことが出来てなんとも言えないくらい感動しました。有り難うございました。

(2年 男子)

世界遺産という言葉を意識することはあまりなかったのですが、午前の講義やマスターさんの説明があったからこそ、素晴らしさを感じながら活動することが出来たと思います。また、女人道を歩いて昔の人々がどういう思いで歩いたのかなど大変さが伝わってくるようでした。私たちはこれからも1人の和歌山県民として和歌山の宝を守っていきたいと思います。

(2年 女子)

世界遺産・壇上伽藍にて



マスターさんと



世界遺産の講義受講